

## 奥秩父 笛吹川 東沢釜ノ沢

2014年10月12日(日) 曇り時々晴れ

メンバー：磯部S(リーダー)、池田T、古橋、宮本、杉浦

---

当初は沢中 1 泊で甲武信ヶ岳を目指し、沢の醍醐味である焚き火で宴会をもくろんでいたが、残念ながら台風が近づき日帰りに変更。

新人には沢景色として有名な「千畳のナメ」や「両門ノ滝」を味わってもらいたく、そこまでピストンすることにした。

スタート地点である、西沢溪谷駐車場よりわずかに手前の「道の駅みとみ」で仮眠。夜はそこそこ冷えた。

早朝移動し、観光道路を歩き笛吹川を渡ってすぐ林の中に右折し、バリエーションが始まる。

直に河原歩きとなり、数百m進むと対岸に石飛びで渡る。そこは鶏冠谷と尾根への取り付け地点だった。ご丁寧に看板まである。

入渓点へは、ここから約 2 kmほど東沢左岸の旧登山道をたどっていくが、これがまた新人にはアスレチックに荒れていて気が抜けないようだった。

左に小さな「山ノ神」の祠を見て、すぐに自然と沢に降り立った。やっと始まったという感じ。

釜ノ沢が始まる分岐まで河原歩きがメインとなるが、途中流れ込む支流には、落差のある巨大ナメ滝が何箇所もあり、自然の造形美に感動する。

遡行グレードとしては 1 級であり、何の問題も無い。強いて言えば、この時期濡れたくないというバランス感覚が要求されるゆるいハツリはあった。

紅葉はまだピークを迎えてなかったが、沢の流れと舞落ちた紅葉のハーモニーはとても美しかった。

釜ノ沢出合いは、いきなりでかでかとした看板群の出現で認識させられた。とてもショックだった。

1/25000地形図をにらめっこしていた自分は何なんだ・・・。

気を取り直して進むと、魚止めの滝が現れる。右岸からサクッと登るが、帰りはこのすだれ状の滝は遊べる！どうやって遊ぼうか考えてわくわくしていた。

そして待ってました！「千畳のナメ」。なんでこんな 1 枚岩盤が形成されるのだろうかといつも不思議に思う。神秘的な景色が続き胸を打たれる。

新人も感激してくれて、ああ連れて来てよかったなあとしみじみ……。水量も程よく（実は多いと目が回る）先まで歩いて大休止、まったりする。

時間も無くなってきたため、両門ノ滝はまたのお楽しみにして、ここから引き返すことにした。

魚止めの滝の下降ラスト 3 mほどのフェイスは、新人を補助ロープで確保。自分は気持ちよく飛び込む。幸い天気は晴れ間もあり、日光の暖かさを感じることができ、帰りは他メンバーも水遊びを交えたりした。今回あきらめずに日帰りでも来てよかったな、と思える 1 日でした。



支流の巨大ナメ滝・・・よく見ると稜線近くから流れ落ちている！



ここですべて水没&泳ぎ・・・お日様のありがたみを感じる





10月だけど・・・落ちたついでにやっぱり泳ぐ！



本流の河原歩き・・・紅葉がきれいでした





千畳のナメ①・・・山岳会に入らなかったら、知らなかった「日本の美」



千畳のナメ②・・・ずっと続く岩盤。紅葉を身ながら夢心地・・・





千畳のナメ③・・・足元に薄く流れる沢水が、また繊細で美しい

<タイム> 西沢溪谷駐車場(6:55)－鶏冠谷出合(7:45)－入渓点(9:35)－釜ノ沢出合(11:35)－千畳のナメ(11:55-12:20)－西沢溪谷駐車場(16:40)

(磯部S記)

以上